

目録
本号1面で紹介しているように、定額で多拠点生活できるシェアハウスや、初期費用がかからない短期賃貸マンションが出現した。セミナー講演でよく、「家を持たずに賃貸住宅に住み続けたいと思う人が増えれば人口減少が進んで

でも業界は衰えることはない」と問いかけている。前述の新興賃貸住宅は、今の若者が魅力を感じる住まいとして、供給されている。所有から、利用や共有するシェアリング志向を持つ20~30代のミレニアル世代が住み続けたいと思える住宅が増えると、これまでの賃貸仲介・管理の在り方にも変化が訪れるだろう。

2019年
2・25
No. **1355**
毎週月曜日発行

週刊 全国賃貸住宅新聞

発行所 株式会社全国賃貸住宅新聞社 東京都中央区銀座8-12-15 [支局]大阪 http://zenchin.com
TEL 03(3543)6494(代表)・03(3543)6761(編集部) 発行人 河内 鈴 (毎週月曜日発行) 年間購読料17,000円

注目企業
トップインタビュー
Top Interview

創業からわずか10年で東証ジャスダックに上場した収益不動産販売のグッドライフカンパニー(福岡市)が14日、2018年12月期決算で増収増益を発表した。今期は自社施工の強化や宿泊事業参入、東京進出を計画。「賃貸マンション業界で日本を代表する企業」を目指す高村隼人社長に取材した。



グッドライフカンパニー(福岡市) 高村隼人社長(39)

上場後初の決算で過去最高益

M&A視野に年内、首都圏進出を計画

2018年12月期は13棟39戸を売上、売上高36億9500万円、営業利益5億7000万円、経常利益5億7000万円、純利益4億2000万円と、過去最高益を記録した。今期予想は売上高36億9500万円の前期比24%増、経常利益5億7000万円の同4.2%増、売上高は18棟587戸を見込み、創業から延べ100棟を超え大台に乗る。さらに新たな取り組みとして、建設会社設立による5月期までの竣工は4

割の顧客が購入から数年目指すうえで早いペースで全国展開を進めていくと語気を強める高村社長。物件はRC造マンションが主力だ。前期は従来メイン商品の10階建てに加え、5階建て中層階規模のマンションを新商品として熊本で2棟企画した。一方、手掛けた13棟のうち自社施工は3棟のみ。1棟あたり平均2億3300万円の建築元上を機会損失している状況を改善するため、19年4月に建設会社を設立し、7月には稼働予定だ。自社施工の割合を増やしていく



11BTH リブる 平成タワーの外観

2020年2戸を管理 入居率98.4% 12月末時点の管理戸数は2602戸で、入居率は98.4%に上昇。引き渡した賃貸マンションはサテライトではなく、管理受託をしている。自社施工のみの入居率は99.2%とほぼ満室稼働だ。リーシングを左右する間取りや内装に関して

「子どものごころから社長になるのが夢だった。20代で独立し、30代で上場する目標を叶えることができた。国内トップ企業になるべく、次に目指すのは年間完工100棟だ」と先を見据える高村社長の挑戦は続く。



powered by ENS

品質そのまま、基本料金0円

入居者アプリに電気料金をプッシュ通知。空室時の自動名義変更と電気料金の一括支払いも可能に。

パレットクラウド株式会社

入居者アプリに電気料金をプッシュ通知。空室時の自動名義変更と電気料金の一括支払いも可能に。

パレットクラウド株式会社